

2016年3月期第2四半期決算説明会 主な質疑応答(要旨)

■国際線について

Q:中国線における日中枠拡大で、下期の競争環境をどう見えていますか？

A:中国線に関しては、日中枠拡大で需給が一時的に緩むため慎重に見てまいります。

Q:日本発のビジネス需要の動向は？

A:引き続き堅調に推移しております。

■国内線について

Q:上期の国内線が好調であった理由は？

A:今年のゴールデンウィーク、お盆、シルバーウィークは日並びもよく、単価の高い個人のお客さまに多くご利用頂いたためです。

■コストについて

Q:燃油費の今後の見通しは？

A:下期の見通し前提は、シンガポールケロシンでUSD71/bblとなっております。

■投資について

Q:2016年3月期通期投資キャッシュフロー見通しが当初見通しよりも90億円減少している理由は何ですか？

A:主として航空機受領時期の変更によるものです。

■株主還元について

Q:今後の株主還元の方針について教えてください。

A:まずは足許の財務体質の安定を図ることを優先させて頂きます。その上で、株主還元の更なる拡充については今後検討してまいります。

以上